

**平成30年度第3回津山市ファシリティマネジメント委員会 議事概要**

<p>日 時 : 平成30年9月20日(木) 午後3時 ~午後5時5分</p>	<p>場 所 : 津山市役所2階 第3委員会室</p>
<p>出席者</p> <p><b>【委員】</b> 藏田委員長、大山副委員長、小山委員、小西委員、菅田委員、北村委員、有宗委員、赤井委員、岡本委員、上田委員、西本委員</p> <p><b>【津山市】</b> 財政部長、財産活用課長、財産活用課主幹、財産活用課職員</p> <p><b>【傍聴人】</b> 3名</p> <p>欠席者 なし</p>	
<p><b>1. 開会</b> 委員10名参加で、委員会の成立を宣言。(後に1名の委員遅参)</p> <p><b>2. 委員長あいさつ</b>  藏田委員長あいさつ</p> <p><b>3. 協議事項</b></p> <p><b>委員長 :</b> 今回は、大きく言えば二つのことを話したい。一つ目は前回の視察を踏まえて今置かれている市営プールの現状と課題をどう捉えていくのかということ。 二つ目はそれらを踏まえて今後のファシリティマネジメントが津山市のマネジメント基本方針に示されている事項を実践していくためには、どのような方法、考え方があるのかということを議論させていただきたい。 まず、最初に現地視察を踏まえた現状と課題について、事務局の方から、補足の説明をお願いしたい。</p> <p><b>事務局 :</b> ●ガラスハウス、久米レインボープール、勝北スポーツ公園プール、学校プールについて、利用状況、収支状況、管理状況等についてスライドで説明。</p> <p><b>委員長 :</b> 今のスライドを適宜見直しながら話をしたい。一施設づつ議論を進めていきたい。まずはガラスハウスの現状について意見を聞きたい。もちろん現状で良いという意見も構わないし、改善する事項なども含めて皆さんの意見を伺いたい。</p> <p><b>◆ガラスハウス</b></p> <p><b>委員 :</b> 指定管理に出されているガラスハウスだが、指定管理料を毎年1億円以上出して運営しており、見た目は黒字になっているが、市民1人当たり1,000円の公費を支出して運営することには、疑問を感じる。又、今後の水回り等の修繕費用を考えれば、なんとか今20年もってきているが、今後に不安を感じる。</p> <p><b>委員 :</b> 利用料金は、小学生は夏期600円から閑散期700円で行きやすいが、中学生に1,200円ないし1,400円は高すぎて頻繁に行ける所ではない。高齢者も、600円から800円だと少し高い印象を受ける。</p> <p><b>委員 :</b> ガラスハウスだけではなく、大きな修繕箇所があって、今後どの程度の修繕費がかかるのか、議論を進めていく上で押さえておく必要があるように感じる。</p>	

**委員長 :** たまたま、平成29年度は修繕費が1,000万円だったというということで、他の年度では、その時々に必要な修繕費をかけている。

**委員 :** 利用料金が一般が夏場は1,200円で、その他のシーズンが利用者が減少することから、1,400円になるのだろうが、逆に利用料金を下げること、利用が増えるのではないかと考える。

**委員 :** グラスハウスは象徴的な建物。利用料金がネックになっていると思う。特に夏場は良いが、閑散期は、個人的にも冬に1,400円払って温水プールに浸かる気にはならない。料金の見直しは必要と思う。指定管理料も1億以上支出して、別途修繕料を1,000千万円、合計で1億2,000千万も支出するのはどうかと思う。

**委員 :** 利用料金は、中学生の料金は確かに高い。高いが、夏場はキャパシティを越える程の利用者がある。高級路線で行くのならば、逆に利用料を上げる選択もあり得る。その場合は、ただし設備も含めて、それに見合うサービスの提供が伴わなければならないようになる。会員料金が別にあるが、リーズナブルな値段で提供されている。特に高齢者の会員などは、ほぼ毎日来られているような方もおられる。その会員も、夏場は利用者が多く来られないような様子も見られる。今後も運営を継続するのであれば、閑散期の集客強化に尽きると思う。料金を下げてPRするというのはいいのではないかと。

**委員 :** 修繕を含めた収支をどうしていくかに尽きると思う。利用料金の話が続いているが、指定管理に出している以上、利用料金は、指定管理者の裁量によるのではないかと。

**委員長 :** 現在の修繕を含めた収支についてはどう考えるか。

**委員 :** 現在は全く成り立っていない。ファシリティマネジメントに取り組む時点で、津山市の財政が逼迫しているのは間違いないはずである。市民サービスや市民の憩いは当然重要だが、市の財政を先に判断する必要があるのではないかと考える。これは全ての施設に言えることである。

**委員 :** 設備としては立派な施設だと思う。津山市のレジャーのシンボルとしては良い施設だと思う。自分も時々利用するし、夏場は県外からも利用者が来られていると思う。しかしながら前回視察時も、故障により一部機能が停止しているなど、アピールするには管理不行き届きの状況にある。指定管理者が協定期間後どう考えているのか。以前、市民参加の事業仕分けにもグラスハウスはあがっており、その際は、廃止又は要検討施設になっていたはず。当時もその状況であったので、市民としても立派な施設であるが、廃止やむなしの感情にあるのではないかと。

**委員 :** 築20年と言うことで、これから先にどの程度の修繕費が支出されるのか、そもそも今後どの程度の使用に耐えうるのかを検証する必要がある。また、プールの水を排水するはずなので、その排水を有効に利用することは考えられないか検討してみてもいいと思う。例えば、リージョンセンターの浄化槽や、温度が高ければ野菜の栽培なんかも考えられると思う。塩素の問題もあるが、何か有効に使えるものが有ればいい。

**委員長 :** 私からは皆さんの意見を色々述べて頂いたので申し上げることはない。課題は多くあると思う。収支だけでなく設備の問題も含めて、トータルに持続可能とするにはどうすれば良いのか考えなければならないと思う。

#### ◆勝北スポーツ公園プール

**委員 :** 利用料は340円でガラスハウスに比べてかなり安い。期間は7から8月で、多くの利用者が来ている様子で、利用期間を絞るのは良いと思う。

**委員 :** 利用料金を値上げすべき。同時に利用者数を増やす仕掛けが必要だと思う。

**委員 :** 利用期間が絞られるから、費用も抑えられている。利用料金は、見学者からも徴収するので、そのあたりも踏まえた利用料金としており、ある程度妥当かとも思う。

**委員 :** 2ヶ月の営業で直営では収支がきついのかと思う。収支は、人件費だけ足が出ている様子。2ヶ月間を業務委託する方法もあると思う。

**委員 :** グラスハウスの課題は、前回の視察には欠席したが自分なりに考えてみた。現状では維持管理は難しい。止めるなら、止め方を考えるだけであるが、もし継続するのであれば、発想の転換が必要。利用者数を伸ばすのか、収支を改善させるのか、業者を変えるのか。津山市も人口は減少していく。これを利用して高齢者を呼び込む一つの施策を考えられないか。近年フィットネスなどの、ヘルスへの関心がトレンドとしてあり、津山インター近くの24時間営業のフィットネスジム、津山中央病院もある。津山市が健康づくりの街づくり構想として、できるかどうかは別として、ガラスハウスを利用するなら、社会保障費の将来的な負担減少を見越して、例えば市民税を減税するなどのメリットを打ち出すことによる移住者の呼び込み。健康的な余生を楽しむためにガラスハウスを利用する移住者に対しては、市民税を免除するようなことができれば、ガラスハウス単体に係る支出と社会保障費等の将来負担を比較して、その収支が合うのであれば、面白い検討になると思う。

ガラスハウスは高い。勝北は利用料が安いので家族連れにとってメリットは高い。収支を見れば、公共サービスとして提供するべきがどうかは意見が分かれるところだと思う。総論としては、収支が合わない施設に公費投入はするべきでないという意見が大勢を占めると思うが、各論となれば、利用者がこれだけいる施設だからという話になる。思い出がある方は「寂しい」という意見もあるだろうし、行政側としても困るところだと思う。

**委員長 :** あくまで、委員会意見が決定事項では無く、執行機関や市民が最終的に判断することであるので、ここでは、あまり配慮せずに屈託のない意見を出して頂きたい。

**委員 :** 遊泳プールで、大きいガラスハウス、小さい勝北プールで、規模は異なるが目的が重なる施設だと思う。印象としてはかなり老朽化している施設だと感じた。昨年度も大きな修繕が発生している。何かの不具合で稼働が出来なくなった時点で廃止ということはやむ得ないと思う。収支が170万円の黒字と言いつつ、500万円の修繕費、1,000千万円の人件費がかかっているに係わらず施設視察の対応の職員が、収支はトントンであると言っていたが問題意識が希薄であると感じた。

**委員 :** 家族的で土地柄からものどかでレジャーというか、癒やし系のプールという印象。全体

的に運動公園内のプールで、スポーツとして考えると合わないし、老朽化から修繕箇所は増えていくと思われる。廃止の方向で考えて行くべきではないかと思う。

**委員 :** スライドの説明資料にあった人件費が1,000千万円はプールだけの人件費なのか。

**委員長 :** プール管理に正職員2名と嘱託職員2名が、フルに関わっているというデータは違和感を感じるが、実際にプール管理に係る人件費はどの程度必要としているのか詳細な説明が必要ではないか。人件費1,000千万円の中には全体の公園管理にかかるものもあると思われる。

**事務局 :** 管理棟に常駐している職員であり、運動公園全体に係る職員でグラウンド管理や、テニスコートの管理なども兼務の状態にある。プール開放時は、プール運営が主任務となるが、その他のシーズンは他の施設管理に従事している。人件費は2ヶ月の営業であるから6分の1という考えもできる。

**委員長 :** それで収支を計算しても黒字化されている訳では無く、赤字幅が減少するということだと捉えられる。

**委員 :** 子どもが利用することが多いと思う。遠いので、家族連れでの利用が想定される。子どもだけで行くことは難しいのかなという印象を受ける。

**委員 :** 正職員2名配置は、プール管理で、命に係わるような施設だから、職員2名配置になるのだと思う。プールが無ければ、正職員1名配置で足りているのではないのか。大きな修繕が来た時期で存続を考える必要があると思う。

**委員長 :** こちらは、公園管理も含めて考えた方が良いのかもしれない。

#### ◆久米レインボープール

**委員 :** 平成7年開設から20年以上経過している。高齢の方は水着を着て歩いていたり、久米中学校が授業で利用している。ボイラーの不調や、天井も痛んでいる様子だった。今後修繕費が嵩むのでは無いかと心配な施設である。

**委員 :** 開設後23年。市営プールの中では一番古い施設である。利用者6万人は、ガラスハウスの半分位。小学生や高齢者にPRして呼び込みをして利用者の増加を図るべきである。

**委員 :** 場所的にプールが無くなると寂しい。利用者は勝北より多い。利用料金は妥当だと思う。

**委員 :** 築年数は経っており老朽化していると思う。屋内の温水プールなので、学校事業でも利用しやすいプールなのではないかと思う。

**委員 :** 市内には競技用プールが無いと思う。施設の自主事業でスイミングスクールがあつて競技指向のコース、健康づくりの為のコース、子どもが楽しめるようなコースがあつた。送迎のバスもあり、活用の仕方は良い。利用料金も妥当だと思う。ただし老朽化している印象はある。残せるものなら残す考えもあると思う。

委員： 非常に努力している施設だと思うが、指定管理料2,200百万円をずっと負担するのはどうかと思う。段階的にでも、指定管理料は下げていくべきだと思う。

委員： 合併前に建設されて、久米中学校が利用しているように聞いている。真庭市との広域連携は考えられないかと思う。課題としては、旧久米町だけでは、利用者が足りないので、公的支援として行政の枠を越えた連携が今までにあるのかどうか問題だと感じた。

委員： 温水プールなので、久米の小学校なども利用すれば良いと思う。

委員： 秀実小学校は、来年度プールの改修を予定している。その改修を止めて、こちらを利用する選択もあるのではないか。現状として子どもの遊び、学校授業、高齢者の健康増進、競技と幅広く利用されている。市営プールのどれかを残すならここだと思う。課題は施設の老朽化だと思う。修繕費見込みなど専門的な知見を取り入れながら判断すべき問題だと思う。

委員： 視察時の感想では雰囲気も良いし、施設も面白い。今後市内小中学校プールを改修するより、競泳用プールにも利用できるので、このプールを大事に利用すると良いと思う。

委員： 久米中学生が利用しているのは、夏期だけなのか。

事務局： 他の学校と同じく夏期だけの利用である。

委員： 高齢者も利用している様子であったが、高齢者の利用者を増やす方法を検討すれば良いと思う。

#### ◆学校プール

委員長： 維持費は1校当たりは50万円から100万円と、そう高額ともいえない。ただ、数がある。また、それぞれに改修費も発生している。

委員： 視察した学校は大きな小学校。こちらはフル稼働の状態であった。しかし、小さい小学校のプールは、修繕費などを考えれば、2～3校で1つのプールなどの運用も考えなければならぬと思う。

委員： 自身は高田小学校出身。全校100名程度で、プールの使用頻度は少なかった。水泳指導や、PTAのプール開放もあまり使われてはいなかったように思う。小学校毎の違いを今後考えていくべき。

委員： 生徒数の少ない学校は、保有するだけで費用は嵩んでいる。民間のプールで集中講義でお願いすれば、学校のプールを利用しないで済むようになると思う。

委員： 6月から利用ということだが、6月は梅雨の時期にあたり、実際はほとんど利用できていないのではないかと思う。そうすれば使用期間は1ヶ月程度で、その1ヶ月に50万円や100万円という維持経費がかかると考えれば、削減も必要になってくると思う。

**委員 :** 授業の実施期間が、6月1日から7月20日頃まで本当に限られた期間しか利用されていない。その間に教師が水泳指導をしなければならないのかと疑問を感じる。それよりも、ちゃんと指導をできる場所で指導を受けるべきではないかと思う。PTAプール開放は、猛暑により無くなったりしている。1校1プールを今後も続けることは疑問を感じる。整理に向けた行動を起こしていくべきだと思う。

**委員 :** 人口は確実に減少していくので、統廃合は必要。民間プール活用を含めて、官民連携を進めていくべきだと思う。生徒は減少を辿るのに、必要な経費は同じくかかり続ける。又は老朽化により嵩んで行くと思われるので、財政的にも困難になっていく。又、逆の発想として、PTAのプール開放が無くなれば、他の市営プール利用者の増加にも繋がるのではないかと思う。

**委員 :** 猛暑が今年がたまたまなのか、今後も続くのかは、大きな問題だと思う。6月から7月の解放期間。プールの水温は、温水を越えてしまう。プールサイドは60度にも達すると思えばぞっとする。それに対応するような改修を行うようなことでは、何をしているかわからないようになってくるので、年間必要経費もこれから上昇が見込まれることを思うと、学校プール授業自体が問題となってくる。久米中学校の市営プール利用の実績もあるので、どこも、そのような形態を目指せばいいのではないか。

**委員 :** 学校プールは一概に収支だけで話してはいけない。教育の一環として捉える必要がある。しかし、利用率は考えなければならない。統廃合や、民間プール利用、先程の久米レインゴープール利用などを検討して無駄は無くさないといけない。集約して、費用をかけるところにだけかけて、集約するべきところは集約することを考えるべきと思う。

**委員 :** 平成30年度から31年度で、学校プール改修の計画があるようなので、早々には統廃合は難しいことは分かるが、徐々には考えなければならない。PTAのプール開放は、近年の保護者は両親とも日中働いており、中々難しくなっている。民間の水泳教室もある。専門的な指導を受けられるそのような施設を利用した方が費用は抑えられると思う。

**委員 :** アジア大会で金メダルを取ったこともあり、今後、水泳熱が高まらないか。学校授業を競泳用プールでの専門の指導を受けられるような環境とすることも検討するべきではないか。

**委員 :** 小学校の統廃合も同時に考えなければならない問題。プールだけではなく、小学校区がどうなるかも併せて検討を行わなければならない時期に来ていると思う。

**委員長 :** 先程の勝北のプールと運動公園と同じように学校プールに関しても、学校教育そのものにも関係する問題だと思う。本日は、プールに焦点を合わせて持続可能なあり方について考えていくようにしていければと思う。主観的な現状と課題は十分に議論頂いたと思う。これから、今後の持続可能なあり方に議論を移していきたい。今までの議論は個別施設にどのような課題があるかということについての話をさせて頂いたが、個別プールだけでは無く、それぞれのプールを併せて、持続可能なあり方について、議論頂きたいと思う。老朽化の問題、収支の問題、稼働率向上、利用料金といったところ、また学校プールとの共用ということもあるかもしれない。市民のニーズとしては、高齢者の利用促進、子どもへ

の教育などは、大きなテーマであると考えられる。どのようなレベルのものを市として整備していくのかということについては、選択集中もあるかもしれないし、統合などもあるかもしれない。取り入れるべき具体的なイメージとかやり方などの考え方について意見を頂いてまとめていきたい。具体的な実現可能性は、当局で精査したり補強して頂くようになると思うので、あまり制約条件を考えすぎないで自由な意見を出し合いたい。例えば学校プールにも、授業をソフトとして指導のみ委託するような手法もあれば、民間プールを活用するような方法もあり得る。現状をそのまま維持する考えもあるだろうし、部分的に見直す考え方もあれば、全てを見直す考えもある。最終的には市民の判断することなので、ここでは自由な意見をお願いしたい。

#### ◆全体を通じて

**委員 :** レインボープールは、現在久米中学校が授業に利用しているが、とりあえず来年度は学校プール改修予定を中止して、秀実小学校が利用してみて、それが良かったら、他の久米地域の学校に広げていけばどうかと思う。

**委員長 :** それ以外のプールについては、現状のままで大丈夫という認識か。

**委員 :** グラスハウスは指定管理期間終了後までに何千万という修繕が掛かるかもしれない。既に一部機能が停止している箇所もある。市民1人当たり1,000円の維持費は問題があると思う。勝北プールについても、レインボープールについても大きな修繕が発生した時点で廃止について検討するべきと考える。

**委員長 :** 整理すると勝北プールとレインボープールは大規模修繕を行わない範囲において使用可能な限り使用した後に廃止する。グラスハウスについては、現状維持ということか。

**委員 :** グラスハウスも同じく大規模改修が必要となった時点で同じく廃止するべきと考える。

**委員長 :** そうした場合、今のプール利用者の受け皿はどうするべきと考えますか。全ての市営プールについて、大規模改修が発生した時点で廃止するような考え方もあり得るという意見と捉えてよろしいか。

**委員 :** 高齢化が進行する時代になるので、高齢者をいかにプールに向けるかということが重要になると思う。利用率向上にも、収支改善にも効果が見込まれる。プールは高齢者の憩いの場として利用できるのでは。水中を歩くだけで運動になり、介護予防にも効果的であるとする。介護予防や地域包括支援センターなどとも連携して、プールに利用者に向けるような施策をとれば良いと思う。

グラスハウスの指定管理料1億円は大きすぎて、利用者を増やしても収支を合わせることはできないと思う。今後廃止に向けて整理するべきではないかと考える。

**委員 :** 存続していく上では赤字化の解消が必要に思う。思い入れがあり、無くしたくないという思いをもたれる方が多くおられるのなら、存続の為クラウドファンディングにより資金調達を行う手段もあるのではないか。

**委員 :** 久米中学校のレインボープール利用の事例を好例に、他の小中学校も、他の競技用プー

ル利用を検討する必要があるように思う。学校プールよりも民間プールを利用した方が良いのではないかと思います。

**委員：** グラスハウスは、指定管理期間が終わった時点で、市民の意見を聞くべき。観光資源にはなると思うが、これほど多くの公的資金を投入するだけの効果があるかは疑問。市民の多くは、年間1億円以上の費用を負担しているとは認識していないと思う。意見を聞いた上で、廃止の判断になるなら廃止すべき。勝北プールは、大規模改修を伴わない範囲で利用できる間は延命して利用する。小さなお子様連れで賑わっているような様子も見られたので、現状維持のまま可能な範囲で継続した後、廃止すればよいと思う。レインボープールは施設が老朽化しているが、多用途に利用できるプールだと思うので、必要な改修は行い、有効に利用していけばいいのではないかと考える。小中学校プールは統廃合を進めなければならないし、市内にせっかく民間プールがあるので、そちらを利用して、専門の指導を受けるような選択も検討しなければならないと思う。

**委員：** グラスハウスは指定管理料を収入に含めれば指定管理者としては収益を上げている。修繕費も市の負担である。指定管理者としては、今後も指定管理を行うことは特に反対しないと思う。自分が指定管理者なら、継続して指定管理を行うように思う。ただ、我々は納税者側であり、指定管理者ではない。この指定管理料は適当では無いように思う。何年か前にグラスハウスは、事業仕分けにおいて廃止の判定となった時に、署名活動があり、かなりの署名集まったことにより存続したように記憶している。それから年数も経ち、現時点の状況から市民の判断に委ねるのが適当であると考え。公営のプールについて、先程のクラウドファンディングもそうだと思うし、グラスハウスなどはかなりの知名度もあるので、ネーミングライツを募集するような考えもあるかもしれない。学校プールについては、民間プールの活用、学校プールの統廃合、学校自体を含めた統廃合全てを含めて、学校プールの改修予定があるのであれば、少しでも早い段階で検討しなければならない時期にあると考える。

**委員：** 市営プールを利用して、ヘルス・健康づくりを打ち出して、移住者の受入をすることができないか。社会保障費の増大は、どの団体も抱える問題。空き屋対策などもある。高齢者に利用してもらうという発想を一步飛び越えて、高齢者を街に呼び込む。津山市は、津山中央病院など高度な医療環境も整っており、自然環境にも恵まれている。住んでいたら気づかないが、実は外から見れば魅力的な街なのではないか。この地域だからできることとして、将来的な医療費の削減とか社会保障費の抑制をできることとして検証実験ができれば空き屋対策に繋がるかもしれない。グラスハウス周辺の一宮地区にしてもこのままでは恐らく40年後にはゴーストタウン化しているように思う。旧市街地の40年前を考えれば、一宮の40年後は恐らくそうなるはずである。津山が全国に先駆けて健康づくり戦略特区に、と考えれば夢が広がる。若者も高齢者にも夢がある街づくりに繋がるのではないかと思います。

**委員：** グラスハウスに関しては、現在1億1千万円の指定管理料。自分の記憶では、5年前初めて指定管理料が示された時には7千万円代の指定管理料だったと記憶している。5年後の延長では1億1千万円。既にいくら資金投入してもきりが無いところまで来ているのではないか。今後も少なくとも1億1千万円の指定管理料を毎年支払い続けなければ存続出来ないのであれば、市営プールとしては厳しい。グリーンヒルズという大きな公園だから、

公園の一部として、発想を転換して何か他の用途での活用を考えられないか検討をしてはどうか。建物が使用できないのか、設備が使用できないのかという問題はあるが、それは専門の方に見てもらって、仮に建屋だけでも残せるのなら、何か公園の一部として他の用途での利用を検討すれば良いし、建物自体が使用に耐えられないのであれば、廃止する必要があると思う。勝北プールに関しては大規模改修を行わなければ稼働出来なくなった時点で廃止。いくら以上の修繕は行わないという金額を設定してしまって、それにより判断すべきだと思う。決めなければいつまでもずるずる引きずってしまいかねない。レインボープールは、学校利用をさらに促進させ、併せて指定管理としての更なる努力をして頂く上で存続させていく方向で進めるべき。学校プールについては、民間プール、レインボープールを含めて効率良く進めていくべき。この期に及んで秀実小学校のプール改修はすべきではないと思う。止められる計画であれば、再度検討していただきたい。学区再編も含めて検討の時期に来ているように感じる。

**委員 :** 市の財政が逼迫している中で、レジャープールに市費を投入して存続させること自体に疑問を感じている。従って、ガラスハウス、勝北プールは、今後廃止に向かうべきと考える。レインボープールは、学校プールとしての利用も見込められるプールなので、存続の方向で考えればよいのではないかと。学校プールについては、水泳の授業は夏にするものという考え方自体を改めて、室内の温水プールであれば年間通じて授業を行うことができることから、民間プールも含めてそのような場所で専門の指導の上で授業を行えばよいと思う。

**委員 :** 競泳用の50メートルプールが必要かと思う。学校プールは複数の小中学校で、1つのプールを利用するという事は、現実難しいのではないかと。屋外プールであれば雨が降れば中止になり、元々利用が安定しない。もし、複数校での共用を検討するならば、新たに屋内プールの整備が必要になると思う。その建設経費も中々捻出できないと思うが、現在の総合グラウンドのあたりに競泳用の50メートルプールを整備して、冬場はスケートリンクとして活用すればどうか。

**委員長 :** 今までの意見を踏まえて、それぞれ全て実現の可能性はあると思う。江戸川区では、民間との連携もあるし、夏がプール、冬がスケートリンクという施設もある。事例は様々なものがあると思う。どの意見もやると決めればできるというレベルの話だと思う。レインボープールは施設としてこれから先、何十年保たせるというのは難しいと思うが、今後の津山の市営プールのあり方を分かり易く示していく目の前の例としては大いに利用価値があるのではないかと。

しかし、あまり長い賞味期限があるわけではなさそうである。小さな修繕を繰り返していくことよりは、新しいものを作り上げていく方が、官民連携の世界で考えればバリューがある。屋内プールで、年間通じて利用できるプールは民間事業者に対しても非常に魅力のあるモデルが組める。事業を考える上で、クラウドファンディングや、ネーミングライツも含めて、あとは選手育成などを考えれば、特色のある指導者や特色のある民間事業者との連携も含めて、官と民が両方使い切れるようなしっかりしたものを作り直すようなことも考えられる。トータルな資金の流れを考えて行く。医療・福祉・介護・教育全部ばらばらにやれば、どうしても採算は合わないが、それらをトータルで組み合わせれば持続可能なものとなる可能性は大いにあると思うし、その為の道具立てとしてソーシャルインパクトボンドという仕組みもある。新しい思考も含めて大いに議論できると思う。次回の

委員会までに本日の意見を踏まえて何らかの形を整えたいと思う。

**委員 :** 今回の委員会までに例えば50メートルの温水プールを一つ作るのに、どれだけの費用が必要なのか事務局に試算をしてきていただきたい。ガラスハウスには年間1億円かかる。10年建てば10億円になる。もちろん別途、維持管理経費が必要だろうが、検討の参考にしたい。

**委員長 :** 今現状の経費はある程度見えた、これを今後の10年、20年とかける中で、恐らく修繕費などは現在の2倍、3倍と嵩んでいくはずである。実際に前回視察に行った中でも、今やるべき修繕をかなり先送りしている様子が伺われた。今ある施設を現状のまま今後も利用することは、今の情報からある程度予測することは可能だと考えられるので、逆にもし、新しい施設を建設することと比較して、そちらに資金を使うことを検討するならば恐らく様々な例があるはず。PFI絡みの温水プールや学校プール授業等も併せて情報を収集して頂きたい。もし次回委員会までに情報提供できるならばメール等でお知らせしたい。

**委員 :** 賞味期限という話があったが、ガラスハウスやレインボープールを現在必要な修繕を行ったとして、あと何年の使用に耐えうると考えられるのか。

**事務局 :** 先程から利用できる限り利用するという意見が出されているが、既に利用できる限りという段階に差し掛かっていると考えている。既にだましまし、延命している状態と考えていただければ良いと思う。常時正常に稼働するレベルの修繕を行えば、現在の5倍程度の費用が毎年必要になるのではないかと考えている。

**委員 :** 廃止するとして撤去コストはどうなるのか。撤去するにしても、プール部分の撤去のみで、屋奥を残すような事ができるのか、それとも完全に撤去してしまわなければならないのか、今はSDGs（エスディージーズ）などという話もあるが、全てを撤去するという0か10かという議論ではなく、部分撤去が可能かどうか聞きたい。また、新しい市営プールを新設するのであれば、地価の問題もあるので建設候補地も聞きたい。広域連携についても具体的に連携可能かどうか考えてみて欲しい。

自分の意見を述べてなかったなので、ここで述べるが、勝北プールは廃止、レインボープールのような施設は欲しい。子ども心から言えば遊び心のあるガラスハウスもあっても良いとは思っている。賞味期限が切れていると考えられるのであれば、そのような施設の建設コストはやはり知りたいと思う。

**委員長 :** 実際の所、市営プールは賞味期限で言えば切迫していることは明白だと思う。視察で現状を見てきたが、どこの施設も雨漏りをしていないプールが無いような状況となっている。

**委員 :** 民間のプールは勝北プールやレインボープールよりも古いと思う。同じように老朽化しているのだから長く使われている。何か造りに違いがあるのかと疑問に感じる。施工の業者や工法が良いのか、もし、新たに市営プールを整備するのであれば、その辺りを確認して頂きたい。民間施設が長寿命で、公の施設が短寿命では、行政の管理状態への不審に繋がるのではないかと。

**委員 :** 直接プールに関係ないが、発想の転換として、若者では無く高齢者を取り込んで行くことを考える上で、プールを活用するという発想は良い視点であると感じた。

**委員 :** リハビリという点で言えば、プールは魅力的だと思う。介護予防にも利用できると思う。

**委員 :** 痩せたい人が、食事制限をするという話をするが、それは間違い。目的は健康であり、痩せる事自体が目的では無い。健康維持の為に、食事制限ではなく、運動により代謝能力を上げる方が効果的である。その際にプールが有効なのは分かるが、太った人がいきなりプールでは抵抗があるので、そういった意味でフィットネスと併設されている施設は健康づくりからのプール利用として考えれば利用しやすいと思う。

**委員長 :** 健康づくりの発想をどう意識づけるかということになると思う。嫌なことを辛いと思いつながら続けるのではなくて、楽しく魅力的な遊びとしての位置づけに誘導することによりWIN\*WINの関係が築けるのかもしれない。今日の議論については結論をまとめることが目的ではない。今日頂いた意見を委員長と事務局とで整理を行っておくこととする。次回委員会では、諮問を受けた事項についての答申の取り纏めに向けた作業に移りたいと考えているので、協力をお願いしたい。

## (2)その他

特になし。

## 8. 第4回津山市ファシリティマネジメント委員会開催日時について

平成30年10月29日（月） 午後3時から

## 9. 閉会

副委員長あいさつ